NIE実践報告

1．タイトル：☆地球を守ろう!

2．学校名

岡山県岡山市立芳泉小学校

3．実践者名（代表者名）

土居　裕士

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　34人

6．単元（本時の学習課題）名

環境問題について、もっとくわしく調べていこう

7．目標（狙い）

自分のテーマに関連する新聞記事から、身近で、新しい情報を収集し、環境問題への理解を深める。

8．評価の視点

これまで収集してきた自分のテーマに関する情報に加え、関連する新聞記事を探すことができる。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

地球を守ろう!(8時間)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)様々な環境問題が紹介されているHPを閲覧し、自分が追究するテーマを決定する。(1時間)
(2)自分のテーマに関する情報を、図書資料を中心に収集し、カードにまとめる。(3時間)
(3)自分のテーマに関する情報を、新聞記事から収集し、カードにまとめる。(2時間)
(4)環境問題を紹介するレポートを作成する。(2時間)
(留意点)
・新聞の情報量は膨大であるため、自分のテーマに関する情報を個人で見つけることは難しいと考えられる。よって、同じテーマの子ども同士でグループを作り、関連する新聞記事を探させる。
・レポートの構成は、1)環境問題の概要(図書資料からの情報を基に)、2)具体例(新聞記事から見つけた身近な、新しい情報の紹介)、3)自分の考えとする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

新聞記事からは、図書資料だけでは知ることのできない情報を得ることができるため、宝探し感覚で、多くの児童が熱心に記事を探していた。見つけた記事を教え合い、情報を共有する姿も見られた。また、記事を探していくうちに、新たな情報を得ることもできるので、環境問題への理解をさらに深めることができた。

12．成果と課題

環境問題はグローバルな問題であるため、児童が自分の問題として捉えにくいことがある。従来の図書資料を用いた学習でも、その傾向が顕著であった。そこで、新聞記事から、自分のテーマに関連する情報を集める活動を取り入れた。これにより、環境問題を自分に身近な問題として捉え直すことができた。また、タイムリーな情報を手に入れることができるという良さも再認識できた。これをきっかけに、環境問題への関心も高まるのではないか。しかし、情報量の多さから、目的の記事を見つけることができなかったり、言葉の難しさにとまどったりする児童も見られた。普段から、新聞そのものに目を通す機会を保障する必要性を感じた。